



日本医療大学第一回体育大会

10月1日(水)午前中、学友会主催の第1回体育大会を本学体育館で開催しました。朝9時の開会式では学生代表が選手宣誓をおこない、全員でのラジオ体操の後、いよいよ競技開始です。クラス対抗方式の選抜選手によるバレーボールは腕に覚えのある教員も参戦。続くドッチボールもソフトバレーボールをしながら次第に白熱。最後はスプーンに載せたピンポン玉を参加教員も含めた各クラス全員でコース一周ずつ走るピンポンリレーを実施しました。参戦者も応援者も盛り上がり大きな怪我もなく全競技が終了。学生委員会主催のパーベキュー懇親会も清田区の「チキンのモモセ」で開催しました。



? explain

(あずましい)
北海道の方言で、
居心地が良いという意味

(お願い) 紙面に掲載されたすべての情報は転載・コピー等を禁じます。
掲載されている写真等の使用に関しては、本学における「個人情報取り扱い」基本方針に基づき本人の同意を得ております。

「日本医療大学公開講座」開催

「いつまでも
美味しく食べたい!」を可能にする
口腔内の観察とケアのポイント

公立大学九州歯科大学副学長
柿木保明氏

学術振興委員会による公開講座が、かである2・7
のかであるホールにて開催されました。様々なメデイ
アに出演し、口腔内の健康の大切さを訴えている柿
木先生のお話を直接伺う機会ということで、医療関
係者だけではなく、一般の方たちも多く集まりまし
た。機能的な口腔ケアが体全体の健康にどれほど影
響するのか、舌の色や形で全身の健康がわかる「舌
診」についてなど、他では聞くことのできない興味
深い内容に90分はあっという間でした。高齢者介護
に携わる人々にとっては、介護に実際に役立つ内容
でした。そのため会場からは体験をふまえた具体的
な質問が多く、講師の柿木先生は出席した学生の質
問にも気軽に答えて下さり、初め会場は関心の高さ
から静かに聴き入っておりましたが、最後には大き
な拍手に包まれて終わりました。



世界と日本

人間力を高めるための一週間

平成26年12月10日～16日

学生委員会では人間力の高い看護師を目指してい
る本学の教育指針に則って、北海道ユニセフ協会の
ご協力を得て、以下の催しを実施いたしました。



ユニセフ
パネル展

ユニセフ (UNICEF・
国際連合児童基金) は、
子どもたちの命と健や
かな成長のために、現
在150以上の国と地域で
活動しています。保健
、栄養、水と衛生、教育
、暴力や搾取からの保護
、EM・エイズ、緊急支援

アドボカシーなどの支援活動を実施し、その活動
資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府から
の募金や任意拠出金でまかなわれています。ユニ
セフ協会とは日本の民間部門におけるユニセフ募
金・広報・アドボカシー活動の窓口を担っている
団体です。今年の日本医療大学「世界と日本」は
ユニセフ協会から「ユニセフって何」と「世界の
こともたち」の二つのシリーズのパネルをお借り
して401教室で展示をしました。授業時間の合間等
に熱心に見ている学生もいて、講演会への興味を
喚起することができました。

講演会

「ユニセフの活動と国際協力について」

北海道ユニセフ協会相談役
重原祐治氏

知っているようで知らなかったユニセフの活動
について、最も基本的な知識を説明してもらいま
した。日本は現在は支援する側に回っていますが、
一時期は支援を受ける方でした。そのおかげで日
本の今があるのです。平成25年、そのユニセフが

学生相談室オープン

日本医療大学では、みな
さんがより充実した学生生
活を送ることができるよう、
学生相談室を設置していま
す。問題を抱えている学生
は、一人で悩まないで学生
相談室をご利用ください。



電話 011-885-3380
受付時間 木曜日 11時00分～17時00分
Eメール gakuseisoudan@nihoniryu-c.ac.jp
相談室の場所 研究棟1階
担当 臨床心理士 山田

詳しくは
パンフレットを
ご覧ください。



再び日本の援助を開始
しました。東日本大震災発
生直後から被災地の日本
の子どもたちに対して支
援を開始、現在も活動が
続いているそうです。